

昭和大学薬学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・卒業時の達成目標）

薬学部では「至誠一貫」の精神のもと、真心と情熱をもって薬学を通し医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する優れた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するための特色あるカリキュラムを通して以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し卒業試験に合格した者に、学士（薬学）の学位を授与します。

1. プロフェッショナリズム

- ・薬剤師としての責務を自覚し、法規・規範と医療倫理を遵守し、人間性豊かな医療を実践する態度を有する。
- ・医療を共に担う後輩を育てる責任感を有する。

2. コミュニケーション能力

- ・自らの考えをわかりやすく表現し、相手の気持ちや考えを理解することにより良好な人間関係を築くことができる。
- ・多様な背景を持つ人々と意思疎通することができる。
- ・患者や医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。

3. 患者中心のチーム医療

- ・病院および地域社会において、医療を共に担う多職種の役割を相互に理解・尊重して、患者に関わる情報を共有できる。
- ・病院および地域社会において、多職種と連携・協力しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心のチーム医療を実践できる。

4. 医薬品の調製、管理、供給

- ・医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。

5. 薬物治療の実践と評価

- ・患者の病態を把握して、科学的な根拠と医薬品の特性に基づいて、適切な薬物治療を実践できる。

6. 地域への貢献

- ・プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等を通じ、地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献することができる。

7. 薬学研究と自己研鑽

- ・医療・薬学に関わる研究課題に取り組む意欲と態度を有する。
- ・論理的、批判的な視点から医療・薬学に関わる問題を発見し、解決するための基本的能力を有する。
- ・最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。